

事業報告書（令和 5 年度）

事業名 支援の必要な親子と社会をつなぐ音楽まつりプロジェクト

団体名 支援が必要な子と親の会たんぽぽの会 担当者名 後藤智子

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

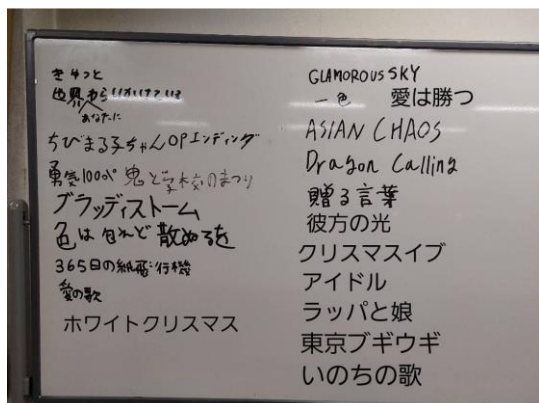
1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

2023 年 6 月～2 月 通常活動 18:00～21:00

参加対象：支援の必要な親子どなたでも。演奏をサポートして下さる方。

6/24 岡山市立東公民館研修室（2 人）、7/1 岡山市立東公民館研修室（8 人）、8 岡山市立東公民館研修室（9 人）、22 岡山市立東公民館研修室（8 人）、9/2 岡山市立東公民館研修室（11）、9 岡山市立東公民館研修室（3）、30 岡山市立東公民館研修室（16）、10/7 岡山市瀬戸公民館大研修室（6）、21 岡山市立東公民館研修室（10 人）、11/9 ペペの家（5 人）11 岡山市立東公民館研修室（10 人）、18 岡山市立東公民館研修室（8 人）、25 岡山市立東公民館研修室（9 人）、12/2 岡山市立東公民館研修室、16 岡山市立東公民館第 1 講座室（9 人）、2024 年 1/6 岡山市立東公民館研修室（9 人）、13 岡山市立東公民館研修室（17 人）、20 岡山市立東公民館研修室（15 人）、27 岡山市立東公民館研修室（12 人）、2/3 岡山市立東公民館研修室（20 人）、17 岡山市立東公民館研修室（15 人）、24 岡山市立東公民館研修室（16 人）

内容：毎週土曜日 18:00～21:00 岡山市立東公民館研修室で活動しました。時間内は出入り自由。ホワイトボードに曲を書いています。自分の演奏をしたり、自分以外の演奏を聴くこともできます。知っている曲には演奏参加することもあります。次々にイベントを盛り込んでいるので、イベントに向けての演奏練習をしました。



イベント ライブハウス体験

8 月 11 日 17:00～21:00 「ライブハウス体験」 岡山市南区藤田「ペペの家」（16 人）

参加対象：支援の必要な親子どなたでも。演奏をサポートして下さる方。

あこがれのライブハウスでの演奏体験。本格的な照明、音響の中での演奏体験。

(様式第8号)



10月8日9:30~17:00「秋の音楽まつり」岡山市瀬戸公民館大研修室(50人)、
参加対象者：支援の必要な親子どなたでも。演奏をサポートしてくださる方。お客様はど
なたでも

演奏したい曲、楽器での音楽イベント。本番までにたくさん練習する子もいれば、本番だ
けの参加の子もいる。一人ひとり参加の仕方も違う。発表の場があることで目標ができる。
大きなステージ、照明、音響、観客席も設置されている場所での演奏体験。



11月12日8:00~15:00「岡山マラソン沿道応援演奏」ライブハウスペペの家前(18人)
参加対象：支援の必要な親子どなたでも。演奏をサポートしてくださる方。
岡山マラソンの応援に向けての選曲。いつもは自分の演奏したい曲だけれど、このイベン
トは「誰かのために」を考えて曲を決め、みんなで同じ曲を演奏していく体験。



12月23日「年忘れライブ」岡山市立東公民館研修室(20人)
参加対象：支援の必要な親子どなたでも。演奏をサポートしてくださる方。

いつも活動しているホームグラウンドの場所で、順番に好きな曲を演奏していくイベント。



2月23日 10:30~16:00 「にじのねたのしいおんがくフェス」 灘崎文化センター (15人)
たくさんの観客の前で歌う体験。他のグループの演奏を聞く体験も。



参加人数 のべ 337 人

2. ESD の視点

① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

- ・自分のやりたいことからスタートするが、他の人の演奏を聴いたり、見たりすることで、自分の「好き」以外のことにも興味を持ち、他の人と一緒に演奏したりする姿も見られた。
- ・人から見られることで、どのように演奏したらよいかアドバイスを受け入れる子もいた。
- ・演奏の練習をプライベートの時間にカラオケ店に行って練習する子もいた。
- ・公共交通機関を使って活動の場に参加する子もいた。瀬戸公民館へも一人で移動に挑戦した。
- ・イベントの後、次のイベントに向かって目標を立てる姿が見られた。

② どのように学び合いを取り入れたか

- ・イベントの後振り返りの会を設けることで、よかったことを共有する時間をとった。
- ・協力者、演奏サポーターを様々な方にもお願いする。人数を増やす。

③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか

- ・イベントを入れることで、よりよく演奏したい意識付けになった。練習を重ねていくことで、上達していくことを体験できた。
- ・演奏サポーターさんから、いただいた演奏についてのアドバイスを、保護者が間に入って、環境を変えることで体現し、本人が納得できるようにした。
- ・聴いてくださったお客さまにアンケートを書いていただき、どう聴いてくださったかを共有した。

3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）

- ・イベント（発表の場）の場所が広がったことで、活動範囲、行動範囲が広がった。生活行動範囲が広がった。
- ・様々な方が演奏サポートに入ってくださり、子どもたちへの理解が広がった。
- ・自らが楽しんで活動に参加し、自らが次に向かって目標を立てて活動する姿が見られた。
- ・支援の必要な子に対して、どう伝えたら伝わるか周囲が学ぶ機会ができた。

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

- ・にじのねたのしいおんがくフェスに参加して、同じような方向で子どもたちとかかわるグループの交流ができた。今後、協力をしながら広げていきたい活動だと思う。
- ・活動が10年続いている。1つのコミュニティとしてなくてはならないものになってきている。